

会議録概要	
会議の名称	令和4年度第2回長久手市平成こども塾運営委員会
開催日時	令和4年10月2日（日）午前10時から午前11時30分まで
開催場所	長久手市平成こども塾 丸太の家
出席者氏名 （敬称略）	委員長 伊藤稔明 事務局 建設部長 水野泰 委員 青山裕子 みどりの推進課長 山本一裕 委員 早川健一 同課主幹 青山均 委員 村上圭三 同課専門員 福本將 委員 瀬在丸恵子 委員 村瀬摩里子
欠席者氏名 （敬称略）	委員 佐藤文子（職務代理者） 委員 筒井千稲
傍聴者人数	0人
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	【議 事】 （1） 令和4年度長久手市平成こども塾事業中間報告について （2） 平成こども塾サポート隊創作班プログラム見学 （3） その他
問合せ先	長久手市建設部 みどりの推進課 長久手市平成こども塾 TEL 0561-64-0045
備考	

【議事要点】

1 報告事項

「議題(1) 令和4年度長久手市平成こども塾事業中間報告」について

→ 承認

2 見学

「議題(2) 平成こども塾サポート隊創作班プログラム見学」

→ 実施済み

3 「議題(3) その他」

→ なし

議事は以上

4 その他

第3回平成こども塾運営委員会開催日程は、以下の通り。

→ 2月3日（金）午後1時～午後3時（会場：平成こども塾）

【議事概要】

【事務局】

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただ今から令和4年度第2回長久手市平成こども塾運営委員会を開催いたします。なお本委員会は、長久手市平成こども塾運営委員会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、過半数以上出席していただいておりますので、成立していることを報告します。

1 挨拶

部長挨拶

ここからは伊藤委員長に議事の取り回しをお願いしたいと思います。

委員長挨拶

2 議題

【委員長】

「議題(1) 令和4年度長久手市平成こども塾事業中間報告」について事務局から説明していただきます。

【事務局】

資料について説明します。

～説明～

【委員長】

只今、事務局から説明のありました内容について、ご質問やご意見などがありましたら、ご発言をお願いいたします。

ご意見はありますか。

【委員】

アートフェスティバルについてですが、昨今のコロナ禍で活動の場が制限されている中で、こども塾まつりで活動ができるのはありがたいです。

【委員長】

他にございませんか。

【委員】

2点伺います。サポート隊育成についてですが、高齢化が進んでいるとのことですが、皆さん何歳ぐらいなのでしょう。

【事務局】

手元に年齢の資料がないので概ねですが、食と農班、自然班のリーダーは80歳を少し超えています。隊長は70歳前であるものの主要メンバーの方々は、70歳代です。この他に、こどもファームに加入している子どもの保護者でサポート隊に加入されている方々は40歳前後です。

【委員】

今いろいろな団体で高齢化が問題になっています。そして、年金の支給開始年齢が70歳になるということで、今のような活動が今後も存続できるのか、という事が大きな課題となっています。となると現役の方にとってどうやって参加してもらうか、その組織作りを今後考えていく必要があると思います。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。私どもでも一つの例ではありますが、平成こども塾プログラムの中で大学連携を行っていますが、本委員会の職務代理者である芸大の佐藤文子准教授に御協力いただき、年1回陶器作りのプログラムを行っています。

これは、学生さんが主体となり企画・運営をされているもので、今後手法の一つとなるかもしれません。

また、一昨年から学校連携の講師料を時給900円相当に上げるなど待遇面での改善を進めているところです。

【委員】

プレーパークの件ですが、今後どのような形になるのでしょうか。

木望の森の整備を行う過程で、プレーパークに興味ある親御さんと話す機会がありました。いろいろな考えがあると思いますが、今後どのような形で整備をしていくのでしょうか。

【事務局】

プレーパークは、0歳から100歳までと標榜していますが、我々の想定としては幼児から小学生とその保護者が主な対象となるのではないかと考えています。また、委員の言われた幼児やその子育て期の母親にニーズがあることは認識しております。

また今までの講演会講師の話やプレーパークの先進地見学で各地に行くと「運営は行政ではなく市民で行うべき」、「行政は金は出せども口出すな」という言葉を耳にすることから、その運営は市民で行うべきと考えています。しかしながら、その中核を担う市民が現れないことからその”発掘”ができないかこのような体験会を通じて模索している現状です。

【委員長】

他にございませんか。

【委員】

今回のプレーパーク体験会の講師はどのようにして見つけたのですか。

【事務局】

3年前に美濃プレーパークを見学しましたが、その運営者だった方に講師を依頼しました。もともと自然体験活動では有名な方でこども塾職員の知り合いだったことがきっかけです。

【委員】

今後はどのような方向性で進んでいくのでしょうか。例えば幼児やその子育て期の母親が集えるような場所となるのか、子ども達が森遊びをするような場所になっていくのかなどです。また、講師を変更されたのはなぜでしょうか。

【事務局】

現時点では、具体的な方向性を考えられる段階ではないのですが、今回講師に新たな方を迎えた理由は、当初の講演会から3年が経ちましたので視点を少し変えたいとの思いがあるからです。また、東海地区のプレーパークには2人の代表的な運営者がいると聞いていまして、その1人がこども塾で今

まで講演会の講師をしてくださった塚本先生で、もう1人が今年度講師をお願いしている萩原先生です。ぜひこども塾としても萩原先生と関わりを持ちたいとの思いから変更したこともあります。

【委員】

プレーパークに来られる親子等の方々は、いろいろな視点で参加してくるのかもしれませんが、現在は行政としてどのようなことができるのか多面的に模索している最中なのかなと思っています。

【委員長】

他にございませんか。ないようですので次に「議題 (2) 平成こども塾サポート隊創作班プログラム見学」へ移りたいと思います。見学について事務局からお願いします。

【事務局】

それではこれから外へ出て、見学に移りたく存じます。

本日の内容は、平成こども塾サポート隊創作班 若杉廣巳氏による「竹のマリオネット作り」です。時間は、今から30分程度をめぐりに見学していただき、その後、再度ここに集まって質疑や議題(3)を行いたいと思います。最後に次回委員会の日程を決めてから終了したく思っておりますのでご協力をお願いします。

～ 見学 ～

見学終了

【委員長】

では「議題 (3) その他」について御質問・御意見はありませんか。事務局、みなさまからは何かありますか。

【事務局】

特にありません。

【委員長】

ないようですので、議事については終了とします。ここからは事務局において会議の進行をお願いします。

3 その他

令和4年度第3回長久手市平成こども塾運営委員会の日程調整を行った。(次回の候補日時を、2つに絞り欠席委員から追加意見を伺って後決定することとした。)

【事務局】

以上をもちまして、令和4年度第2回長久手市平成こども塾運営委員会を終了いたします。ありがとうございました。

※ 後日調整の上、令和4年度第3回長久手市平成こども塾運営委員会は、2月3日(金)午後1時～午後3時(会場:平成こども塾)に開催することとなった。